



流木等の漂着物を一掃 草別組 神恵内で海浜清掃

に、2地区に分かれて約3時間にわたって作業を展開。ペットボトルやプラスチック片のほか、波で打ち上げられた木片や小枝が散乱する中、持ち込んだバックホーなどを使って丁寧に拾い集めた。集めたごみは用意した大型土のう袋に詰め込み、ユニック付きトラックで処理場に運搬した。

活動に参加した高橋昌幸村長は「重機の提供や運搬などを担ってもらい、とても助かっている。毎年参加してくるのは、本当にありがたい」と謝意を示した。

同社は「長くお世話になっている地域のために、少しでも役に立つことができれば」とし「今後も継続して地域貢献していく」としている。

保持とイメージアップを目的に、村主催で毎年実施しているもの。新型コロナウイルス感染症の影響によって、4年ぶりの開催となった。

活動の趣旨に賛同する同社は、地域貢献の一環として例年ボランティアで清掃に参加。ことしで12回目の活動となった。

この日は役職員17人が参加し、役場職員や村民と共

【小樽発】(株)草別組(岩内、小松知史社長)は6日、神恵内村が実施する海浜清掃にボランティアで参加した。写真。役職員ら17人が手作業で流木などを拾い集めたほか、重機を使ってごみを収集・運搬。地域の環境美化に向けて汗を流した。

海浜清掃は、本格的な観光シーズンを迎えるに当たって、美しい自然景観の